

令和5年(2023年)

06月30日

第 788号

発行

学校法人文京学院

<https://www.bgu.ac.jp>



〈本校キャンパス〉

学校法人文京学院

文京学院大学外国語学部・経営学部・

人間学部・保健医療技術学部・大学院

／文京学院大学生涯学習センター

〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1

☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816

文京学院大学文京幼稚園

〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1

☎幼 03-3813-3771

〈ふじみ野キャンパス〉

文京学院大学人間学部・保健医療技術学部

／大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市久保1196

☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

〈駒込キャンパス〉

文京学院大学女子高等学校

文京学院大学女子中学校

〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3

☎03-3946-5301

本学では、高大接続、地域振興、国際交流などに向けた、高等学校や自治体との更なる連携強化を目指し、協定締結を実施しました。

## 大学 埼玉県立富士見高等学校との包括連携協定締結

5月27日、本学と埼玉県立富士見高等学校(校長:佐賀博)の高大接続に関する包括連携協定締結式がふじみ野キャンパスにて実施されました。高校生の視野を広げ、教科学習や進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学生の成長・発達の機会を創出し、高校教育・大学教育の活性化を図っていきます。



## 大学 高大連携特別授業「オープンカレッジ」開講

5月27日より、本学では参加希望の高校生や指定・協力高等学校に対して、高大連携特別授業「オープンカレッジ」を開講しました。この「オープンカレッジ」は、高校1・2年生を対象として、「高校生が大学の学問分野とその先の進路・職業について理解を深めることで、自身の将来の可能性と視野を広げる」ことを目的としています。期間は5月～11月、全9回のプログラムを予定していく、プログラム終了後には、「高校生が興味・関心の持った学問・職業に対して、自ら主体的に学ぶ姿勢と日々の学習に向かう意欲と進路キャリア意識を育む」ことを到達目標としています。



第1回「オープンカレッジ」での授業風景

## 大学 藤沢市との日本文化交流促進連携等協力協定を締結

6月7日、本学と藤沢市の日本文化交流促進連携等の協力に関する協定締結式が本郷キャンパスにて実施されました。

本学と藤沢市は、昨年9月～11月、藤沢市が保有する日本文化・歴史・観光資源等を本学の留学生・在学生が共に学ぶ、産官学国際連携教育プログラム「GLOBAL BLUEHANDS PROJECT」を実施しました。また、今年4月～5月には、藍と藤沢市を題材にサステナビリティについて考えるグローバルカリキュラム「GCI特講Ⅰ」を実施するなど、藤沢市をフィールドに文化交流を行ってきました。

本協定は、今後両者がより一層密接に連携することで、地域振興、研究・教育活動、国際交流等での協働を進めることを目的としています。

締結式当日、福井勉学長は「これまでのプロジェクト成果をいかし、本学が持つ4つの学部の特性をいかした新たなプロジェクトを藤沢市と実施できるよう推進していきたい」と述べました。



締結式に参加した関係者と本学の在学生・留学生（前列左から3番目：藤沢市鈴木恒夫市長、同4番目：本学福井学長）

## 中高 体育祭

6月7日、武蔵野の森総合プラザ（調布市）で体育祭が開催されました。平日にも関わらず、多くの保護者の方々がご来場しました。

今年は、新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の分類における「5類感染症」に変更されたことから、マスクの着用を個人の判断にしたことで、生徒の笑顔が一層輝き、生き生きとした姿を見ることができました。また、アオバジヤパン・インターナショナルスクール生も参加しました。

午前中は、レッドブロック優勢でしたが、午後の種目で点差を縮めたブルーブロックが逆転優勝！高3・中3の結束力が優勝に導きました。

この日のために、長い間かけて運営準備をしてきた三役をはじめとする体育祭実行委員や、当日の縁の下の力持ちであったスポーツ科学コースの生徒たちの力により、学校全体が一つになったひとときでした。

### \*\*\*体育祭実行委員長コメント\*\*\*

井上 晴菜（高3梅）

まず、体育祭が大幅な進行の遅れもなく、プログラム通りに無事に終えられたことに感謝いたします。

三役は春休みから、他の実行委員は4月中旬から、放課後を利用して準備をしてきました。三役は、エントリーやプログラム作成など、パソコン業務の日々でした。そこへ加わった実行委員は、主に係の冊子作成を担当していました。途中、定期試験のため10日ほど作業は止まりましたが、その間も関わる全ての人の「成功させたい」という想いを強く感じました。限られた時間や人数で、作業バランスが取りづらいなど、大変なこともあります。そんな中で迎えた当日は、実行委員長という立場だからこそ緊張もありましたが、溌りなく進み、それぞれが責任をもって自身の仕事をこなしてくれたことが成功につながりました。大きな声援や拍手、笑い声もあり、みんなが楽しめた体育祭になりました。そして、最後の体育祭で優勝の賞状をいただいた時は、自分の努力が報われた瞬間でした。

体育祭実行委員長としての経験は、多くの人と関わりながら目標に向かいやり遂げることなど、たくさんの学びがあり、私にとって最高の青春でした。

### ■ ブロック別得点表

グリーンブロック（中1・高1）	365点
レッドブロック（中2・高2）	640点
ブルーブロック（中3・高3）	755点

## 大学 福祉医療マネジメント研究科（専門職大学院）設置認可申請中

本学は2024年4月の開設を目指し、専門職大学院として新たに本学大学院に6つ目となる研究科「福祉医療マネジメント研究科」を設置認可申請中です。新たな研究科は福祉医療分野における専門職、経営・管理職を主な対象とし、「経営学」を軸に、組織マネジメント力や人材育成に関する学びを提供することで、福祉医療分野を新たに牽引できる人材の育成を図っていきます。

## 大学 福祉医療マネジメント公開講座開催

福祉医療のマネジメント領域における専門家を講師としてお招きし、最新現場情報の共有やディスカッションを行う福祉医療マネジメント公開講座「イノベーションを実現する～地域で、組織で、多職種で～」を全6回にわたり開催中。

詳しくはホームページをご覧ください。



## GREEN SPIRITS

### 言語力と専門性で不確実な未来を生き抜く

外国語学部長・教授  
金彦叔

今年度より外国語学部長を拝命しました金彦叔です。どうぞよろしくお願いします。

外国語学部を設けている大学は他にも多くありますが、本学の外国語学部の特長は、語学力だけでなく専門性を重視することにあると考えます。ここには、英語（語学）をツールにして、学生一人一人の関心や才能、やりたいことを伸ばしてあげたいという学部設置当時の先生方の思いがあった

でしょう。学部には言語習得そのものに興味のある学生もいれば、言語をツールとして他の分野で活躍したいと思う学生もたくさんいます。これらの学生のニーズにあったカリキュラムを提供することが、学部の使命だと考えます。現在、外国語学部には、国際ビジネス、国際文化、国際協力、英語教育の4つの専門分野があり、専門ごとにゼミが開講されています。実は語学だけではないのです。

この外国語学部ですが、社会の変化に対応できる人材、多様性を理解し協働できる人材の育成を目標に、昨年度より学部改革を行い、来年度から新しいカリキュラムで新入生を迎えることになりました。改革のポイントは、①使える英語力、②課題解決力の強化、③学生全員にグローバル体験の3つです。使える英語力とは、単なる言葉のスキルではなく、AIにはまだできない、他者の社会や文化への理解を踏まえたコミュニケーション力としての英語力を意味します。それを身につ

けるために、8名で構成されるSpeaking8、Discussion8のような超少人数制の英語クラスを新たに開設し、他者への理解を踏まえた実践的な英語教育を試みます。また、2年次の基礎ゼミを新たに設け、1年次から4年次までを通して少人数制の課題発見解決型ゼミで学びを深めます。ここでの学びは、1年次から4年次までを通して行われる特定目的英語（ESP）授業と連動しており、ゼミでの学びを英語で発信する力を身につけます。さらに、学生全員にグローバル体験として、1年次から参加できる海外フィールドワークプログラムや協定校のレイクランド大学ジャパン・キャンパスへの国内留学プログラムを用意しました。国内留学で、日本にいながらもアメリカの大学の雰囲気を味わうことができます。学部での学びで得た語学力や専門性は、学生一人ひとりがこの不確実な時代を自分らしく生き抜くための力になると確信します。これからも外国語学部に注目してください。

## 大学 就職状況レポート

三侯 正治 本郷キャンパスディレクター補佐  
キャリアセンター長

外国语学部に関しては、ここ数年、情報通信業界を中心に就職していますが、金融・保険・専門・技術サービス業界への就職率も伸びています。経営学部は、ビジネス実践型授業の成果を活かし、例年通り、IT企業はじめ幅広い業界、職種、就職しています。人間学部コミュニケーション社会学科と人間福祉学科福祉マネジメントコースの卒業生は、それぞれの専門知識、コミュニケーション力を生かして幅広い業界に就職しました。保健医療技術学部臨床検査学科は、卒業生の6人に1人の割合で大学院に進学したほか、就職希望者の全員が専門職に就職しています。看護学科は、第一期生の卒業生から6期連続就職率100%を達成しています。

また、インターンシップからそのまま選考に進むといった早期化の傾向は継続しており、これまで以上に早期にかつ充分な事前準備が求められています。

そのため、在学生には低学年次からインターンシップに積極的に参加し、業界理解や企業理解を深めるだけでなく、授業や課外活動への積極的な関わりを通して、「前に踏み出す力」「考え方」「チームで働く力」という3つの能力、いわゆる「社会人基礎力」を身につけることも必要です。専門職を目指す学生においては、低学年次から日々の学びが未来に繋がることを意識したキャリア観の醸成が求められます。

キャリアセンターでは、低学年を対象とした就職支援イベントの充実に力を入れるとともに、従来の筆記試験対策講座に加えて、一般就職活動に特化した講座や、「公務員試験対策講座」も実施しています。

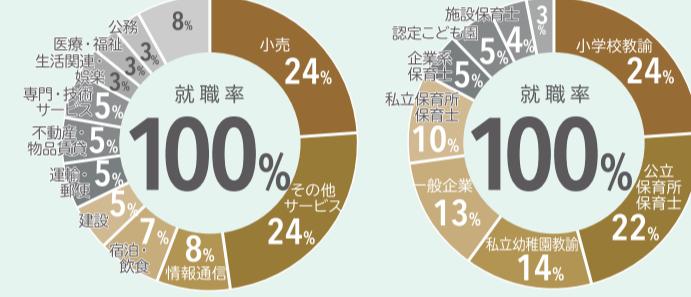
今年度も学生一人ひとりの特性を見極めながら、寄り添い、低学年次から将来をイメージできるよう、学生一人ひとりにあったキャリアパスを明示し、「納得の就職」が実現できるよう、キャリア支援の強化に取り組んでまいります。

### 2023年3月卒業生就職先

#### ■ 外国語学部

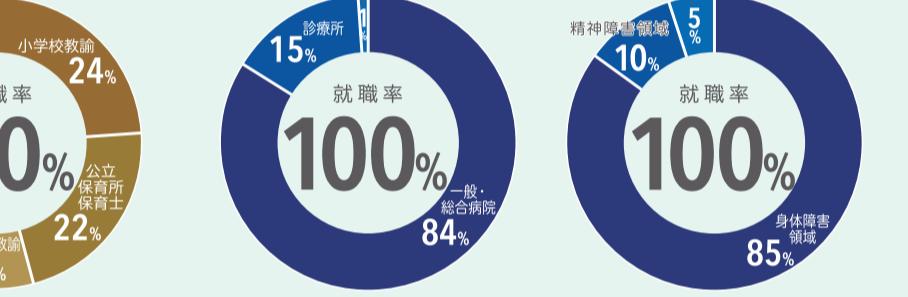


#### ■ 人間学部



#### 業界別割合と就職率

#### ■ 保健医療技術学部



#### ■ 作業療法学科



#### ■ 看護学科



## 大学 国家試験合格率

2022年度保健医療技術学部5資格、人間学部3資格の国家試験の結果について、両学部長が分析しました。

2022年度もコロナ禍の中、感染防止対策をしながら、多くの学生が国家試験合格率を果たしました。保健医療技術学部4学科5職種の国家試験合格者数(本学現役合格率:全国現役合格率)は以下の通りです。

理学療法士76名(本学97.4%:全国94.9%)、作業療法士20名(本学100%:全国91.3%)、臨床検査技師52名(本学78.8%:全国89.5%)、看護師83名(本学100%:全国95.5%)、保健師8名(本学100%:全国96.8%)でした。学生は、各職種の指定規則に則ったカリキュラムにより、知識・技術・コミュニケーション能力を学んでいます。国家試験合格は、卒業時的重要な目標になりますが、それは臨床家として活躍するための最低条件でもあります。つらい思いをしている対象者に寄り添える高い対人援助技術を持った、質の高い卒業生を輩出すべく、2023年度も教職員協力しながら、学生の学びの支援をしていきたいと思います。



神作一実  
保健医療技術学部  
学部長・教授

#### ■ 2022年度国家試験合格実績(既卒含まず)

保健医療技術学部					
資格	理学療法士	作業療法士	臨床検査技師	看護師	保健師
受験者	78名	20名	66名	83名	8名
合格者	76名	20名	52名	83名	8名
合格率	97.4%	100%	78.8%	100%	100%
全国平均合格率(現役)	94.9%	91.3%	89.5%	95.5%	96.8%

#### ■ 2022年度国家試験合格実績(既卒含まず)

人間学部				
資格	社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	
受験者	49名	23名	12名	
合格者	24名	23名	9名	
合格率	49%	100%	75%	
全国平均合格率(現役)	44.2%	84.3%	71.1%	

## 高校 バレーボール部 8年ぶりインターハイ出場決定!

高校バレーボール部が、5月28日より開催されたインターハイの東京都予選での熾烈な戦いを勝ち進んだ結果「第2位」となり、8年ぶりのインターハイ出場が決定しました!

6月3日、4日の2日間、「第77回関東高等学校女子バレーボール大会」が栃木県宇都宮市で開催され、本校は29大会連続30回目の出場を果たしました。大会では、3回戦までは何とか勝利することができましたが、準々決勝で千葉県代表の習志野高校に惜敗し、「ベスト8(第5位)」となりました。

そして、6月25日にインターハイの東京都予選決勝リーグが東京体育館で開催され、1試合目の共栄学園高校戦に勝利。その後、2試合目の下北沢成徳高校戦で敗戦、3試合目の八王子実践高校戦ではフルセットの末に惜敗となり、1勝2敗で3チームが並ぶ大接戦となりましたが、セット率で本校が「第2位」に入り、8年ぶりにインターハイ出場権を獲得しました。

インターハイは8月1日から北海道釧路市で開催されます。今後とも応援よろしくお願いいたします。



### 【猪瀬里花子主将(3年)コメント】

関東大会では初日の3試合は勝ち切ることが出来ましたが、2日目はフルセットで負けてしまいベスト8という悔しい結果となりました。関東大会で多くの課題を見つかりました。インターハイの試合で自分たちが練習で取り組んできたことができ、勝利することできました。2試合目、3試合目は負けてしまいました。3校が勝敗で並び、セット率の結果「第2位」となり、8年ぶりにインターハイ出場が決まりました。大会を通じて新しい課題が見つかったので、目標である「日本一」に向けて、技術力、チーム力を上げていきたいと思います。

関東大会、インターハイ予選と入場制限もなくなり、沢山の応援のもと試合をさせてもらいました。応援に駆けつけてくださった方々、配信で応援してくださいました。

全員パレードで勝利を目指した生徒たち

## 高校 ソフトテニス部 関東大会出場

6月2日～5日、「関東高等学校ソフトテニス大会」が千葉県白子町で開催されました。本校からは、伊東李々花さん(3梅)・寺部結季さん(2梅)ペアが出場しました。当日は台風と線状降水帯の影響で、4日に終了する予定の大会が5日に順延するという稀なケースの中での戦いでした。

### 【大会レポート】 ソフトテニス部顧問 椎名 智之 教諭

本校ソフトテニス部は、これまで2013年、2021年に関東大会出場、昨年(2022年)は団体・個人ともに関東大会決勝戦まで勝ち上がり、関東大会が身近なレベルになりました。今回出場する伊東・寺部ペアも関東大会で一戦でも多く勝ち上がりたいという意欲を見せていました。同ペアは東京都で勝ち取った順位からシード権を持つため、2回戦の霞ヶ浦高校戦からの出場となりました。ブレイボールの声で試合が始まるとき、序盤から試合は打ち合いの接戦となりました。第1ゲームは、チャンスで上手く攻めた本校ペアが先勝、ゲームカウント1-0と幸運の良いスタートです。しかし、第2ゲーム以降は、相手が変則スライドに変わり、タイミングが合わず2ゲームを失い、1-2になりました。ここからが勝負とコート上で勝負が決まり、第4ゲームは相手に1ポイントも与えず、2-2に追いつきました。5ゲーム目の攻防が勝負の山でした。試合の流れから有利に試合を進める本校ペアに対して、相手も何とか粘ろうと必死の返球をしてきました。その粘りは、二一本といふ攻めをした本校ペアのボールに対して、ギリギリの体勢で返球し、そのボールがコートの空いた空間に落ちるなど相手側に流れが移っていました。このゲームを落としてゲームカウントは2-3になりました。チーム一丸となって試合に臨んだ生徒たち



試合会場にて(左から2番目が寺部さん、同3番目が伊東さん)

## 中学 硬式テニス部 東京都中学校テニス選手権大会(団体の部) 第4ブロック予選会「準優勝」

6月4日、「第49回東京都中学校テニス選手権大会(団体の部)第4ブロック予選会」が十文字中学校会場で行われ、本校チームが決勝進出を果たしました。

初戦の豊島岡女子学園中学校に3-2で競り勝つと、2回戦はホームの十文字中学校に3-1、準決勝は第1シードの小石川中等教育学校に3-0と、個人戦での都大会本戦出場経験のある上級生が、苦戦しつつもチームを引っ張りました。

6月18日に東京成徳会場で行われた同大会の決勝では、第2シードの筑波大附属中学校に2-3で惜しくも敗れましたが、「準優勝」をおさめることができました。今回の結果

## PHOTO GALLERY



大学

## 経営学部生が「釜石スタディケーション」を初実施

5月から6月にかけての約2週間にわたり、経営学部の学生6名が岩手県釜石市に滞在しながら複数の地元企業や行政と産官学連携を行い、釜石市が抱える課題に対して学生ならではのアイデアで解決に取り組む「釜石スタディケーション」が初めて実施されました。“スタディケーション”は、東京から離れた地方で授業を受けながら、その場でしか体験できないフィールドワークを実施することで学生に新たな教育環境を提供するものです。

5月15日～6月9日の期間、学生6名は2グループに分かれ、現地で大学のオンデマンド授業を受けながら、6日間のインターンシップを行いました。

第1グループは、2年生2名と4年生1名が参加し、料理宿の「宝来館」で旅館業務全般の支援を行うチームと、水産加工品製造販売の「津田商店」でプランディングやマーケティング課題の設定、ECサイト立ち上げに向けての広報企画立案を行うチームに分かれて活動しました。

第2グループは、3年生3名と4年生1名（第1グループから残留）が参加し、「釜石市役所」でシティプロモーションの一環として、ふるさとの魅力をPRする「ふるさとCM大賞」コンテストに応募する15秒のショート動画の制作を行い、「かまいし未来づくりプロジェクト」会議における「外国人との共生」についてのワークショップにも参加しました。また、釜石市のケーブルテレビ、三陸ブロードネットのお昼の番組「かもめチャンネルLIVE×NEWS オラホノTV」にも生出演しました。

それぞれ2週間の滞在は、普段都会の生活では体験することのできない、地域の人々との触れ合いを経験できる貴重な期間となりました。今回参加した学生からのコメントを右に掲載します。



「オラホノTV」学生出演動画／  
学生によるInstagram投稿内容は  
コチラから→



釜石市役所でのCM動画の制作会議風景

大学

## 総合研究所共同研究発表会 全32チームが発表

5月20日、本学教員による「総合研究所共同研究発表会」がオンラインで実施されました。

2022年度に採択され、1年間にわたり共同研究に取り組んできた32チームの代表が、各グループに分かれて研究プロセスや成果、課題などについて発表。そのうち、「共同研究費採択」としては23チーム、「学長裁量経費採択」としては9チームが発表しました。

小林剛史同研究所所長・人間学部教授による全体進行のもと、各グループの司会は、各学部長・研究科委員長が担い、どの発表も独創性に富み、活発な質疑応答が繰り広げられました。

大学

## 外国語学部3年生が韓国語能力試験で 「6級」(最上級)を取得

2023年4月、外国語学部の板垣舞雪さん（3年）が、韓国語能力試験（TOPIK）で最上級の「6級」を取得しました。韓国語能力試験は韓国政府公認の韓国語資格試験であり、韓国における大学や企業が唯一採択するものです。「6級」は、専門性の高い内容の韓国語も比較的正確に流暢に使用できるレベルとされます。

板垣さんは高校時代から韓国に関心を持ち、2021年4月の本学入学後から韓国語の学習を本格的に開始しました。外国語学部で2021年度から開講されている「韓国・朝鮮語初級総合」（韓国・朝鮮語を週2コマ学ぶ集中コース）の1期生です。専攻言語の英語だけでなく、韓国・朝鮮語の学習にも一生懸命励み、2021年12月に学外韓国語スピーチコンテストにクラスメートとペアで出場し、「優秀賞」を受賞しました。その後、2022年2月から12月まで韓国光云大学に留学し、韓国語や韓国文化を学びました。そして帰国後の4月に受験し、見事「6級」を取得しました。



合格証を手にする板垣さん

### \*\*\*学生コメント\*\*\*

中原大知（経営学部4年）

2022年度から進行していた釜石市の新「スタディケーション」計画が、経営学部フィールドワークとして今年度より本格開始し、今回6名の学生が参加しました。第1グループは、本学と2013年から縁のある根浜地区に滞在しながら、オンライン授業、インターンシップ、地域との交流活動を行いました。全員が積極的に参加し、大変高評価をいただきました。第2グループは、市役所のインターンシップであったため、市街地に滞在しました。こちらは難易度の高い課題で、問題解決のための役割分担に苦労しましたが、最後は笑顔で終了し、市との信頼関係を築くことができました。全員が問題意識と役割をしっかりと認識して意欲的に活動し、実際に経営者のもので話を聞くことができた経験は、経営学部の他の学生にも良い影響をもたらすものと確信している一方、今後の課題は、10年続けるために新たな可能性を模索していくことだと考えています。

津田商店での新規事業開発に関する打合せを行う中原さん（左）



現地で顔を合わせた2年生と3年生の参加メンバー

宝来館で旅館業務の説明を受ける学生たち



グリング、空中ブランコに見られる身体能力の高さ、フラークなどに見られる身体の柔軟さを場内一杯に披露する展開は、サーカス芸を超えたまさにイリュージョンの世界を感じさせてくれました。前半最後には、大量の紙吹雪が舞い、後半はじめにその散らかった紙吹雪の清掃をするクラウン寸劇に結びつけている点などは、演出の巧みさを表していました。

生徒たちも大いに楽しんだ様子で、会場でスタッフの一員である本校卒業生も、「大きいクラウンが、『今日の学生さんたち最高！特に女の子たち。彼女たち最高だった！楽しい日だ！！』と伝えてくれました。パフォーマーもみんな嬉しそうだ、とスタッフたちも言っていました」とコメントいただきました。

中高

## 芸術鑑賞会

6月12日、中高の芸術鑑賞会がお台場ビッグトップで行われました。

今年の演目は、世界最高峰のサーカス・エンターテイメント集団シルク・ドゥ・ソレイユの「ダイハツ アレグリア-新たなる光-」でした。「アレグリア」はシルク史上最も愛された伝説のショーと言われ、5年ぶりの日本公演となります。当日はあいにくの雨模様でしたが、この日集った一般の方や他校の生徒さん、そして本校生徒も、未知との遭遇に期待は膨らむばかりでした。

演目の間には必ずクラウン（ピエロ）の寸劇があり、伝統的なサーカス芸を組み立てる一方、ポールやジャ

### BOOK INTRODUCTION 書籍紹介

#### 『日系コンビニエンス・ストアの 国際展開 流通近代化を超えて』

川邊信雄名誉教授が上梓された本書が刊行されました。（以下、Amazonより引用）

米国で生まれ、日本で独自の発展を遂げたコンビニ。今や、世界の人々にとってもなじみ深いものになっている。セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップなどの日系コンビニが、いつ、どこへ、なぜ、どのように国際展開したのか。異なる経営環境においていかなる問題に直面し、それらをどのように解決していくのか、壮大なドラマをダイナミックに描く。著書：川邊信雄（文京学院大学 名誉教授）／文眞堂（2023年5月）／4,180円（税込）